明るいニュース

一般社団法人
日本善行会
〒100－0006
東京都千代田区有楽町
2-10-1 東京交通会館内
TEL (03)3212－6996
FAX (03)3212－6998
URL:http//www.zenkoukai.or.jp
メール :info@zenkoukai.or.jp

毎月1日発行
編集発行人　相澤　克也

善行は、社会を照らすともしび。

令和五年度 秋季善行表彰 受賞者伝達式

【岩手県宮古支部】
秋季善行表彰伝達式の開催

去る十二月十日ホテル沢田屋において秋季善行表彰の伝達式を行いました。当日は、善行会会員十八名で会員との親睦会を含めて行いました。

また、剣道青少年指導者岩泉町の工藤満氏は、当日、インフルエンザに感染し、欠席したため、岩泉町の善行調査委員の澤里寛氏が支部長代理として、後日、工藤氏に伝達を行いました。

【福岡県筑後支部】
令和五年度 秋季善行表彰 伝達式の開催報告

令和五年十二月十六日（土）に秋季善行表彰伝達式を実施いたしました。当日はご来賓として柳川市長はじめ、藤丸衆議院議員の秘書、板橋県議会議員、椛島県議会議員など、多数のご参加をいただき、盛大な中で実施することが出来ました。

伝達式では、市長から賞状と記念品を授与された受賞者の皆様は直接ご祝辞をいただけたことに感無量のご様子でした。

【大分県竹田支部】
表彰伝達式報告及び能登半島地震被災地支援募金活動の実施

平成五年十二月四日、竹田市役所において、受賞者三名、工藤厚憲様、桑島隆様、森日登美様に、土居昌弘市長より、伝達されました。

伝達式終了後、土居市長、中城賢一支部長より祝辞をいただきました。

夕方に全会員で祝賀会を行いました。

また、平成六年一月十四日竹田市内のスーパー二ヵ所で、能登半島地震被災地を支援するため、中城支部長以下十三名が、街頭募金活動を行いました。

寄せられた九万円は大分合同新聞社福祉事業団を通じて被災地に送られました。

【熊本県宇土支部】
令和五年度秋季善行彰伝達式を開催

令和五年度秋季善行表彰伝達式を元松茂樹市長、西山宗孝県議、藤井慶峰市議会議長、太田耕幸教育長を来賓に迎え開催しました。

今回は宇土支部推薦で事故防止活動で早川通さん、守田新一さん、青少年指導で川崎照美さん、環境美化活動で後藤修一さん、公共生活への貢献で佃安子さんが受賞されました。

日本善行会勝野堅介会長から祝意のメッセージが紹介され、元松茂樹市長他来賓各位からは地域社会で長年にわたり善行を実践活動された受賞者にねぎらいと敬意の祝辞をいただき、さらに善行運動の推進に努める宇土支部に謝意の言葉をいただきました。伝達式終了後、参加者は事前に申し込んだ宇土支部応援弁当（支部運営支援金が含まれた弁当）を手に散会しました。

支部長会の概要報告（2）

◆地元の神社に寄付をしたりして存在を高めていくよう努めているが、新しい人脈を作って会員を増やしていくことが必要だと思っている。善行会が持続可能な組織となるために、財政健全化は不可欠である。そのために、会議の食事や飲み物等経費の節約のような身を切る改革に努めるべきである。
（西東京支部　元角支部長）

◆区の教育委員会に申し入れて、善行青少年の表彰を行っている。
（板橋支部　平岩支部長）

◆会員の自宅の庭でホタルの鑑賞会を開き、善行会の会員勧誘に努めている。
（練馬支部　栗原支部長）

◆支部は、創立四十五周年を迎え、会員数は四十名である。設立当初から、市役所に事務局が置かれており、市長直属の秘書担当で事務を仕切ってもらっている。市役所ともっと協力して支部の強化に努めていきたい。
（狛江支部　飯田支部長）

◆会員の高齢化が進んでおり、善行会の行事も困難になっている。
（川崎支部　佐久間事務局長）

◆各支部は地域における重要な役割を果たしており、地元のマスコミにも取り上げられているという印象を受けた。明治神宮の表彰式も全国のマスコミに取り上げられ、善行会の活動が認められるよう努めていく必要があると思う。
（小田原支部　志村支部長）

◆ブロックから参加は私だけなので、ブロック会議を開くよう努力をしたい。
（愛知県支部　永津支部長）

◆支部は、コロナ前から事務局長の引継ぎが出来ず、活動も止まっていたが、昨年六月から役員数人で再興しようとやりかけているところである。行政との関係も復活し、表彰の推薦をしてもらうよう働きかけている。まず賛助会員になってもらい、正会員という形での会員の入会促進が出来ないかと考えている。
（大阪支部　太田支部長）

◆北海道、東北や四国、九州からの出席者は、宿泊費と交通費で一〇万円もかかる。それにもかかわらず、数秒名前を呼ばれるだけで表彰は終わってしまう。一方、アトラクションの時間は長い。表彰式の時間配分を再検討してほしい。
（四国中央支部　石川支部長代理）

◆同じ活動で四人以上の者を推薦する場合は団体でという方針であるが、個人個人を表彰してほしいので、今年四人、来年四人という推薦をした。受賞の感激が次につながっていくので、四人以上でも個人個人の表彰とするよう検討してほしい。
（筑後支部　山中支部長）

◆困っているのは、会員の死亡により会員数が減少していることである。今後財政検討委員会を設置して検討を進める等の話を聞いて心強く感じた。
（熊本県宇土支部　山下支部長）

◆市が実施している「あなたが支える一パーセント事業」にエントリーしたら、二六五名の市民が参加し、団体への補助金の限度額を超える資金が集まり、マスコミにも取り上げられた。支部としてはこのような新しい事業を展開しながら、会員の増、資金作りを模索している。
（大分県支部　松井理事）

◆毎年チャリティー・ゴルフコンペを行い、資金集めをしており、今年も七月に実施し、三〇〇人以上が参加して、集まった浄財は、児童養護施設、上毛新聞の募金、社会福祉協議会などに寄付し、善行会を広く知ってもらうよう努めている。魅力ある会であることが大切であり、それぞれの支部の魅力を会員に知ってもらうこともいいことであると思っている。
（群馬県北毛支部　島村支部長）

◆いろいろな活動を行っているが、その中でも交通安全折り鶴運動により、善行会活動の周知に努めており、先日も六か所の警察署と知事と市長のところに折り鶴ストラップを配ってまわったところである。年間に一万個以上作って、学校、地域の交通安全協会、登下校の児童などに配っている。善行会の名前も広がり、協力者も増えてきているということを実感している。
（宇都宮支部　松本支部長）

◆コロナ禍での諸活動の停滞。高齢化社会、若年層の社会活動の志向の変化。善行会活動も六年度はスタートの新たな年として多くの課題を一つずつ良い方向にスイッチを入れて本来の善行活動の推進に頑張りましょう。
（前橋支部　相澤支部長）

※本会は善行精神の普及と善行の実践を通して明るい住みよい社会環境づくりにつとめております。会員会費と個人・企業・地方公共団体からの助成金により運営されております。広く会員を募集しております。